

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学	分野	先進的ケア・ネットワーク開発研究
学籍番号	19S3089	院生氏名	山下哲司
通学キャンパス	東京赤坂キャンパス		
論文題目	特別養護老人ホームにおける利用者の尊厳に対する介護職の意識に関する研究		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>本研究は、特別養護老人ホームにおいて、介護職は利用者の尊厳をどのように意識しているかを歴史的背景を踏まえて量的調査、質的調査により明らかにすることを目的としたものである。</p> <p>「人の尊厳」をケアに固定したうえで、身体的・精神的・社会的な尊厳と定義し、国内外の先行研究を分析するとともに、尊厳に関連する社会的な動きと年代の流れを克明に追跡した。量的調査は全国の235施設を対象に、1施設10人の介護職(常勤・夜勤者2350人)を無記名方式で意識アンケートを実施した。25施設(回収率10・6%)、介護職217人(同9・2%)から回答を得た。質的調査はコロナ禍で対面が難しくなった2人をオンライン方式に切り替え、計8人を対象に半構造化インタビューを行った。</p> <p>その結果、「西洋思想は主に自己決定が人間の尊厳」ととらえているのに対し「日本思想は、主に人間らしさが人間の尊厳」と考え、利用者の尊厳に対する意識の高い介護職は少数で、全体の32・3%に過ぎなかった。尊厳は「一般の人と同じ扱いをすること」とし、排せつや着替えなど「プライバシーを大切にすべき」という点などが意識され、西洋の思想との違いが浮き彫りになった。なお、倫理的配慮については、国際医療福祉大学の研究倫理審査委員会の承認を得ている。</p> <p>審査会は口頭試問を11月25日と1月7日の2回開催した。論文の視点があいまいなことや構成上の問題点が指摘されたが、最終的に適切に修正され、西洋と日本における尊厳の認識の違い、尊厳の意識が日本では低いことが明確になったことは新規性のある論文になったとの評価を得た。</p> <p>その後、文章などの細かな修正を再度求め、審査員全員で判定し本論文を認めた。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(介護福祉・ケアマネジメント学)の学位を授与するに十分な価値があるものとの合意に達した。</p>			
論文審査担当者	主査	水巻中正	
	副査	小林雅彦	
	副査	松永千恵子	